

FC 東京（東京都江東区）

■ 賛同するテーマ



JFA グラスルーツ推進 賛同パートナー

■ 団体の理念・ビジョン・方針

次に掲げる理念の具現化を地域社会・行政・企業の協力体制により組織的に推進し、長期的な視点から真の「都民のための地域密着型 Jリーグクラブ」づくりを目指します。

1. サッカーを通じて青少年の健全な心身の発達および都民の健康や喜びづくりに寄与し、スポーツ文化の振興ひいては地域社会の発展、国際交流・親善に貢献する。
2. 将来的には、サッカー以外のスポーツを含め、競技スポーツとレクリエーションの両分野で地域社会に貢献できるような「生涯スポーツ」を視野に入れたクラブを指向し、これを Jリーグクラブの組織づくりをベースとし、その発展・拡大により実現していく。
3. 都民のシンボルとなり、青少年に夢を与える首都東京に相応しいサッカーチームを育て、多くの都民のファンをつくり、都民の連帯感(地域社会への帰属意識)の醸成・地域社会の活性化に寄与する。
4. サッカークリニック・サッカースクール・各種イベントを中心に、学校や各地域におけるサッカー活動との連携・協力を図り、青少年をはじめ都民各層に対するサッカーの指導・普及活動に努める。

■ 主な活動内容

1. プロサッカーチーム「FC 東京」の運営
2. サッカースクールおよびサッカーの普及活動
3. チームのオリジナルグッズの製作・販売

■ 私たちのグラスルーツ宣言

サッカーでスポーツの楽しさを伝え、人を育て、夢を育みます。

仲間の笑顔で包まれるような活動を増やして、東京の街を元気にします。

■ 上記宣言を具現化するための活動内容

<引退なし>

- ・ おとなのサッカー・フットサル教室
おとなの方を対象に参加した方々がサッカー・フットサルを楽しめる場を提供しています。
- ・ 「青赤パーク」フットサルマッチ
FC 東京のホームゲームでは誰でも参加が出来るフットサルの場を提供し続けていきます。

<補欠ゼロ>

- ・ 小学生向けサッカー大会・フェスティバル
フェスティバルやサッカー大会のレギュレーションは必ず全員が試合に出れるようにして、全員がサッカーを心から楽しめるように取り組み続けていきます。

<障がい者サッカー>

- ・ 知的障がい児・者向けサッカー教室
知的障がいの方々と一緒にサッカーを楽しむ場づくりに取り組み続けていきます。
- ・ あおぞらサッカースクール（知的障がい児向けサッカースクール）
府中スクールでは特別支援学級に通う小学 1 ～6 年生を対象としたサッカースクールを開校しています。

<女子サッカー>

- ・ 女子・女性向けサッカースクール
女子・女性向けのサッカースクールを開校しております。
- ・ 女性向けサッカー・フットサル教室
女性の方を対象としたサッカー・フットサル教室を開催し、参加しやすい環境づくりに取り組んでおります。
- ・ なでしこひろば
JFA が推進する女子サッカー 普及のためのプロジェクト『なでしこひろば』の主旨に賛同し、定期的になでしこひろばを開催しています。

<施設の確保>

- ・ 公共スポーツ施設の指定管理者となって、様々なプログラムを提供しています。さらに施設管理の人材育成にも努めています。
- ・ フットサルコートを自ら造り所有・管理することで、様々なプログラムの提供とあわせて施設管理の人材育成にも努めています。

<社会課題の取り組み>

- ・ 養護施設や困窮家庭の子どもたちにも行政と連携しながらサッカー教室を開催しています。
- ・ 様々な団体と協力して社会課題の改善に取り組んでおります。

■ 活動報告

[団体ホームページはこちら](#)